

## ■ 編集後記 ■

「翻訳育成プロジェクト」によるウェブ版『翻訳研究への招待』11号をお届けします。今回は力作がそろいましたが、投稿が3本と少なめでした。ここ数年、年2回の発行になっていますが、投稿の締め切りを8月末と2月末とすることにより(JAITS学会誌の締切は8月1日)、より多くの皆さまが投稿できるようにしたいと思います。

このところ海外より本誌掲載論文の転載依頼がくるなど、ウェブジャーナルとしての利点を發揮して、世界各地で読まれている様子が見えられます。グローバル化のなかで日本の翻訳研究の発言力が高まることに『翻訳研究への招待』が貢献できるよう、特に若い方を中心として、ふるってご投稿をお願いいたしたく存じます。

翻訳研究は実に多様な側面をもっています。本誌も新しい視点を取り入れ、特集企画などで充実をはかっていきたいと思えます。ご意見・企画などありましたら [tanabe@mail.kobe-c.ac.jp](mailto:tanabe@mail.kobe-c.ac.jp) までぜひお寄せください。また本プロジェクトの中長期的活動目標として、「翻訳論アンソロジー現代日本編」「翻訳論アンソロジー外国編」「翻訳関連文献集成」があります。これは言語を問いませんので、英日以外の言語を専門とする方も、ぜひ積極的にご参加ください。

次号(12号)は10月末の刊行を予定しています。投稿の締め切りは8月末です。多くの論考をお寄せください。投稿をお待ちしています。

2014年4月21日

『翻訳研究への招待』編集委員会

※『翻訳研究への招待』のサイト(論文以外の部分)に英語版を設置する作業を進めています。まだ完成していません。もう少しお待ちください。